

Lesson 5

Lesson 5 では、お施主様に対する打ち合せやプレゼンテーションなどで活用するプレゼンボードの機能を主に説明しております。プレゼンボードは、作成した物件データの平面図や立面図などを1つのシートに配置し、印刷することができる機能です。必要な図面をまとめて印刷することができ、配置の仕方やデザインが自由に決められるので、提案用資料作成などに最適です。

それではプレゼンボードの機能を使ってサンプル物件の提案資料を作成してみましょう。









■ 1階平面図



■ 南側立面図

■ 東側立面図

■ 北側立面図

■ 西側立面図

1階床面積	82.12㎡ (24.75坪)
2階床面積	54.85㎡ (16.52坪)
延床面積	136.97㎡ (41.27坪)
1階+2階	136.97㎡ (41.27坪)
延床面積	136.97㎡ (41.27坪)
延べ率 (%)	0.7%
容積率 (%)	0.7%

安心計画工務店

〇〇様邸新築工事

〇〇様邸新築工事

1/100

100%

Lesson 5 目次

プレゼンボードの作成	5-3
画像ファイルの自動生成	5-3
プレゼンボードの基本画面	5-4
文字の編集	5-5
ページの設定	5-6
プレゼンボードの印刷	5-6
プレゼンボードのアレンジ	5-7
画像の配置	5-7
画像のサイズ変更	5-7
図面の並び替え	5-8
背景表示	5-8
外部画像データの挿入	5-9
画像のマスク	5-10
レタッチ	5-11
矢印・引き出線などの入力	5-13
その他の機能	5-14
プレゼンボードの保存	5-15
プレゼンボードを開く①	5-15
プレゼンボードを開く②	5-16
テンプレート作成	5-17
テンプレートの作成	5-17

プレゼンボードの作成

画像ファイルの自動生成

1 「出力」 から 2 「プレゼンボード」 を選択します。

「画像ファイルの自動作成」が表示されたら、3 「はい」 を選択します。

「画像ファイルの自動作成」では、出力する画像を選択したり、表示方法や出力の詳細設定ができます。

たとえば、表示モードを「図面（線画）」にすることで、立面図を図面で出力することが可能です。

+ 補足

特定のパースの背景を変更することもできます。

背景を変更したいアングルの名称を青く選択し、「画像オプション」の「背景の設定」から背景を変更します。

平面・鳥瞰・俯瞰・立面・パースタブのすべての図面にチェックが入っているのを確認し、4 「OK」をクリックします。

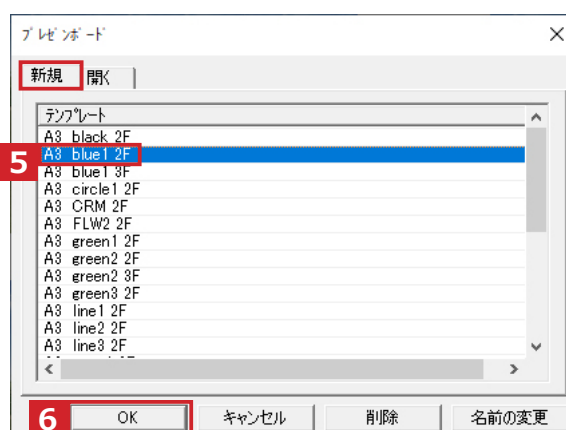
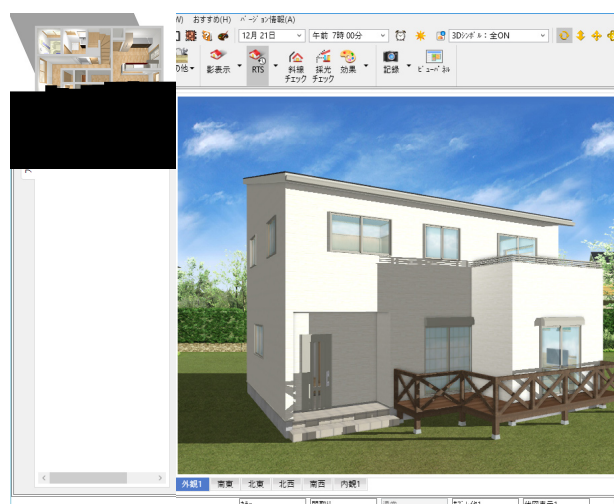
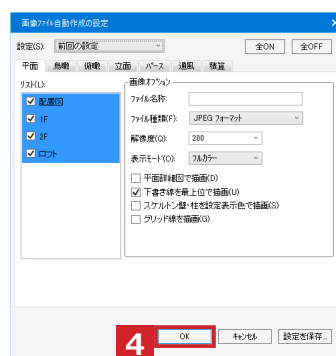
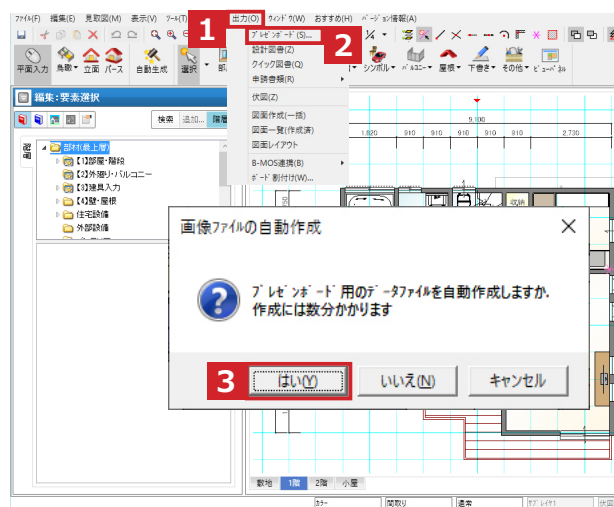
+ 補足

個別にチェックを入れたい場合は、まず図面名称の上でクリックをしてから、チェックを入れます。

+ 補足

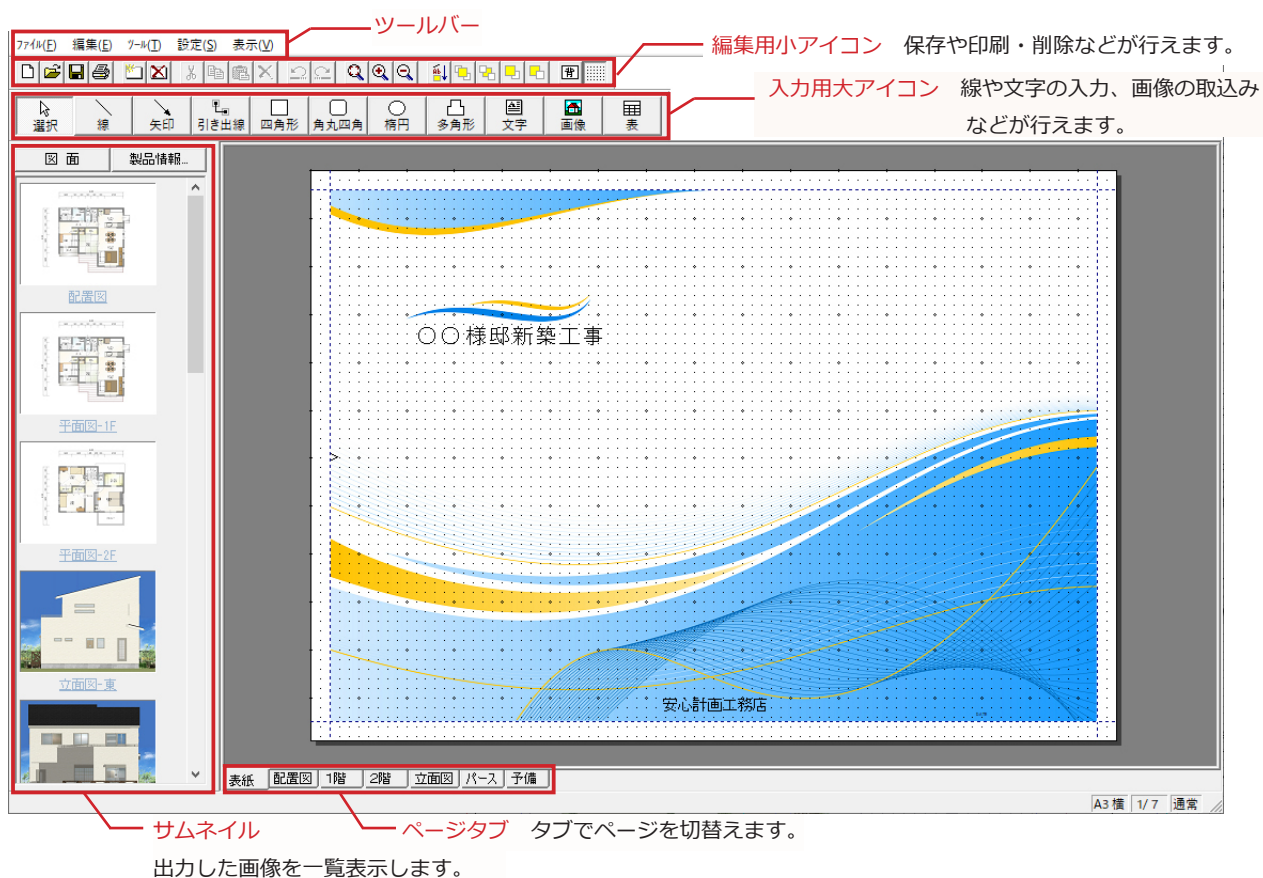
画面の左上に、出力中の画像が表示されます。[Esc] を押すことで、画像の出力をキャンセルすることができます。

「プレゼンボード」が表示されたら、「新規」タブから 5 「A3 blue1 2F」を選択し、6 「OK」をクリックします。



プレゼンボードの基本画面

プレゼンボードの入力画面になります。

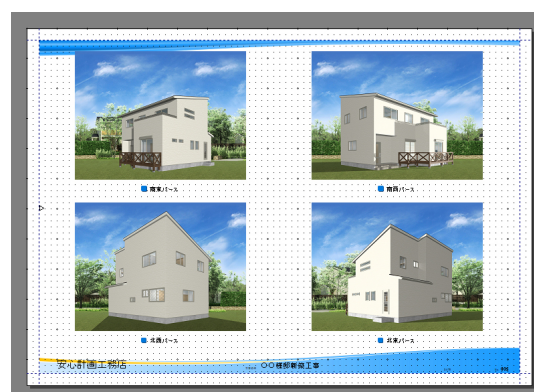


各ページごとに出力した図面が配置されるよう、あらかじめリンク付けがされています。

【立面図】



【パース図】



文字の編集

デフォルトのテンプレートでは、各ページに「安心計画工務店」の文字が入っているため自社名に変更します。

1 「安心計画工務店」の文字をクリックすると、「文字」画面が表示されます。


2 「安心計画工務店」の文字を削除し、自社名を入力します。

ページタブからページを切替え、すべてのページの会社名を打ち換えます。

+ 補足


「文字」画面の「...」をクリックすると、文字の大きさや色、フォントなど詳細な設定ができます。


同様の手順で、「1階」、「2階」タブにプランニングのポイントを記載することができます。

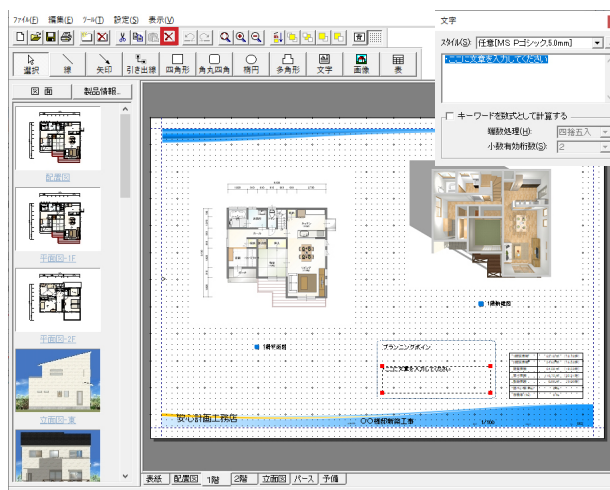
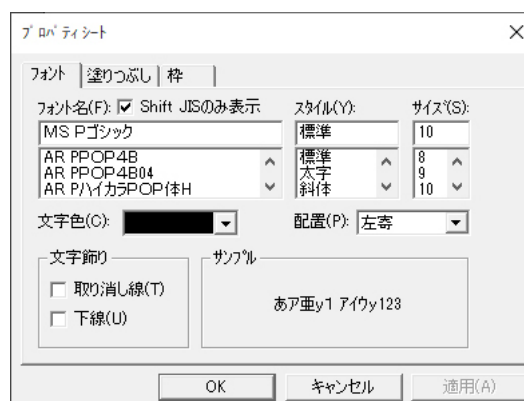
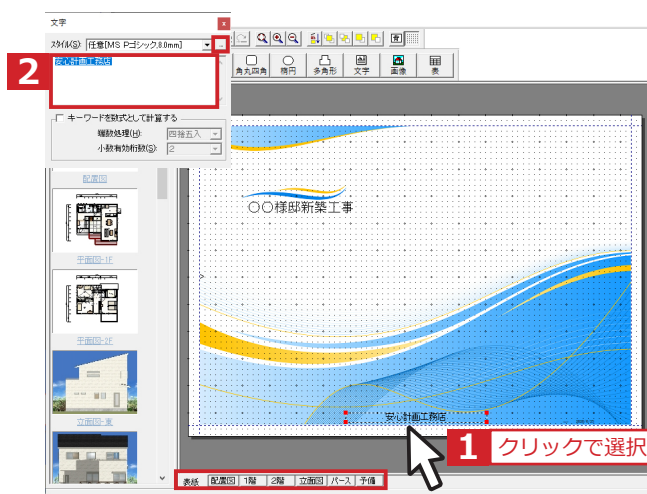
必要のない場合は、クリックで選択し、「消去」をクリックして削除します。

! 注意

アイコンが似ているので、注意してください。

「消去」：選択している要素を削除します。

「ページの削除」：開いているページを削除します。



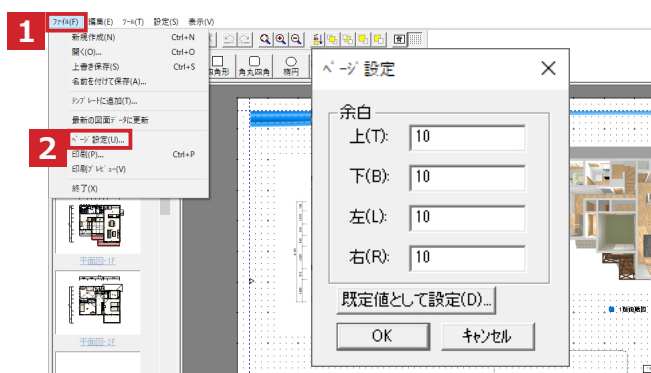
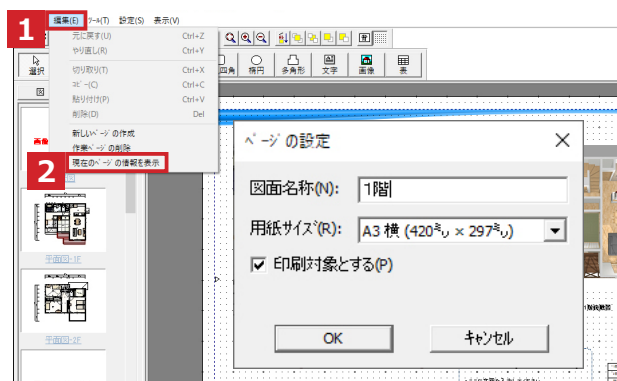
ページの設定

プレゼンボードの用紙サイズなどのページ設定を行います。

1「編集」から2「現在のページの情報を表示」を選択します。

「ページ設定」画面では「図面名称」「用紙サイズ」「印刷対象」を設定できます。

また、1「ファイル」から2「ページ設定」を選択すると、余白設定ができます。



プレゼンボードの印刷

作成したプレゼンボードを印刷します。

1「ファイル」から2「印刷」を選択します。

「印刷」画面が表示されるので、3「プリンタの設定」をクリックします。

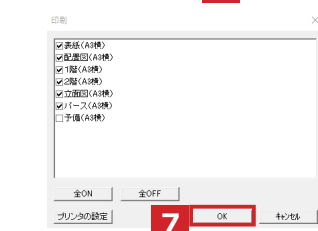
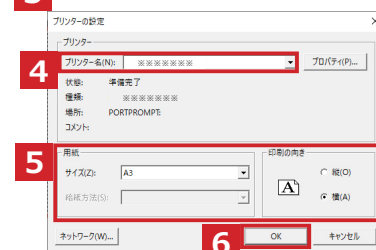
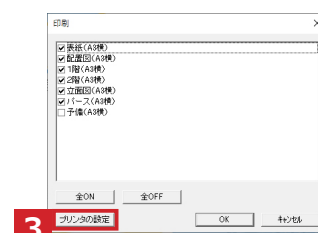
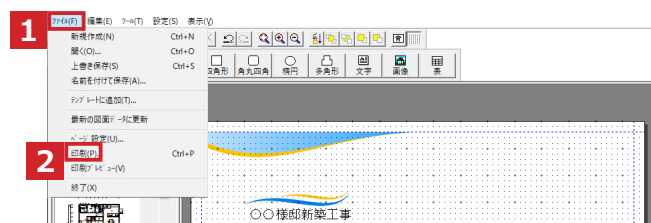
プリンター名のプルダウンより、4使用するプリンターを選択します。

+ 補足

使用中のパソコンに PDF 変換ソフトがインストールされていれば、こちらから PDF に変換することもできます。

5「用紙」と「印刷の向き」を確認し、6「OK」をクリックします。

「印刷」画面を7「OK」で閉じると、印刷が開始されます。



プレゼンボードのアレンジ

画像の配置

「予備」タブに、見せたいアングルを追加します。

- 1 「予備」タブをクリックすると、白紙のページが開きます。
- 2 「サムネイル」から「外観 1」を選択すると、カーソルに青枠が表示されるので、
- 3 任意の位置にクリックで配置します。

- 4 同様に「内観 1」も配置します。

+ 補足

作業の切り替えは、「選択」をクリックします。「平面入力画面」と同じように、「選択」は「選択解除」として機能します。

画像のサイズ変更

画像サイズが大きいので、小さく変形します。

- 1 配置した「外観 1」を選択し、a 点で
- 2 左ドラッグすると青枠が縮小します。

同様に「内観 1」も縮小します。

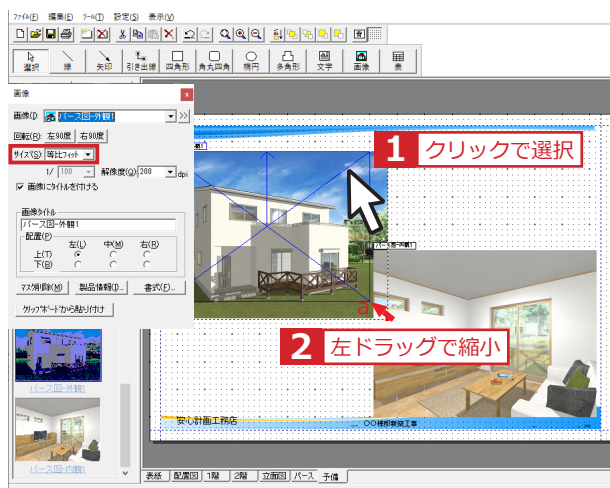
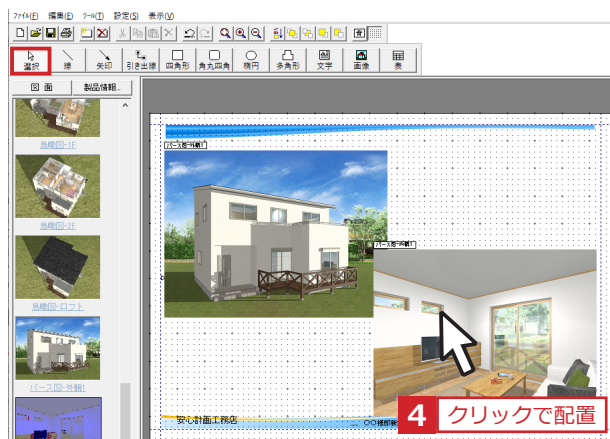
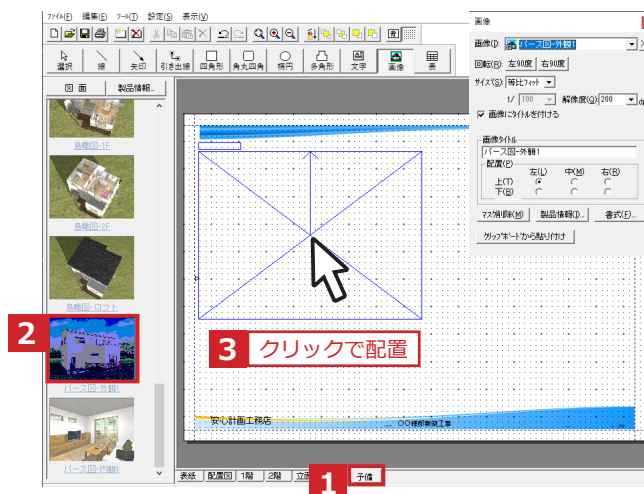
画像のサイズ変更は「画像」画面の「サイズ」から3つのモードで変更できます。

等比フィット：縦横の比率を変えずに、画像のサイズを変更できます。

(パース画像、写真データ等)

縦横フィット：画像枠の大きさにフィットして変更できます。比率が崩れてもいいものにおすすめです。

数値選択：1/100、1/50 など、数値で変更できます。(平面図、立面図等)



図面の並び替え

図面と図面が重なる場合、表示順を変更することができます。

- 1 前面に配置したい図面を選択します。
- 2 「最前面へ移動」をクリックします。

- …自動ソート
- …最前面へ移動
- …最背面へ移動
- …前面へ移動
- …背面へ移動

注意

「前面」や「背面」のボタンがグレーになってクリックできない場合は「自動ソート」が押されていない状態にしてください。「自動ソート」は 線→文字→画像→四角形などの塗りつぶしの順で自動的に並び替えてくれます。

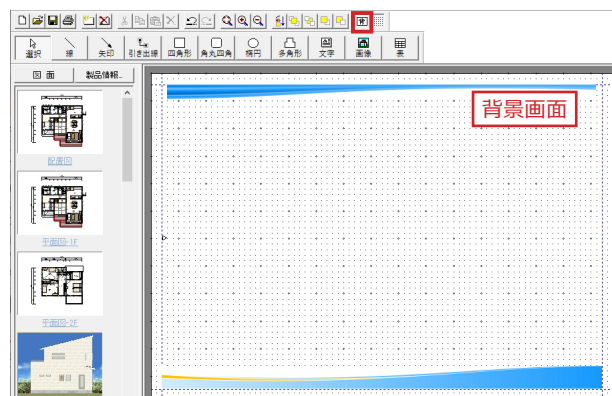
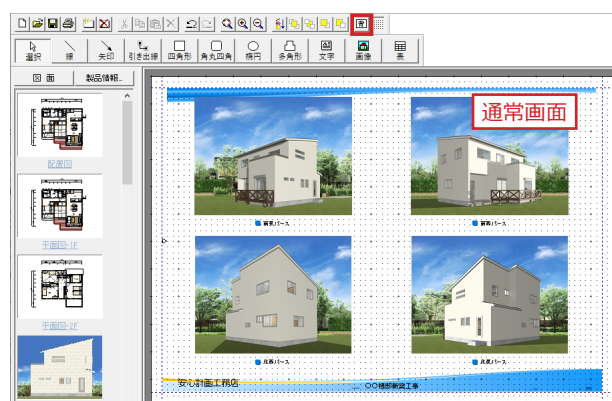
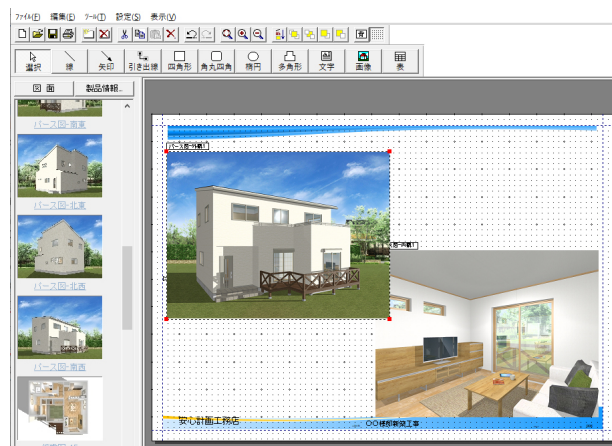
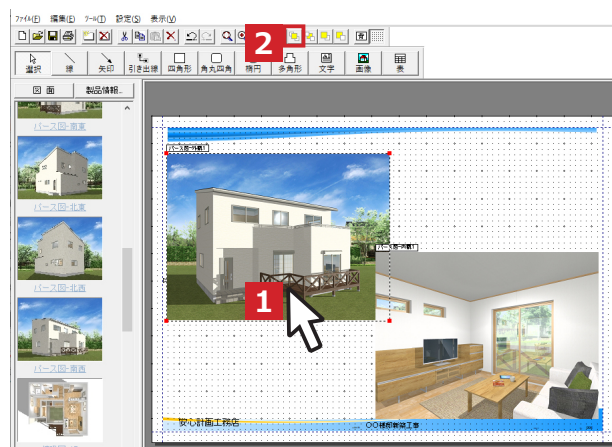
背景表示

配置した画像とプレゼンボードのデザインが重なった際、デザイン部分は選択できません。背景レイヤーに入力されているため、普段は編集ができないようになっています。

「背景」をクリックすると、プレゼンボードにあらかじめ設定されているデザインを選択・編集することができます。

補足

「背景」画面はロゴ画像や社名など変更・移動したくないデータを配置します。



外部画像データの挿入

オリジナルのロゴ画像などをプレゼンボードに取り込むことができます。

- 1 「画像」をクリックします。「画像」画面が表示されたら
- 2 「>>」をクリックして
- 3 「画像フォルダ」を選択します。

「ファイルを開く」画面が表示されるので、任意の場所から

- 4 画像データを選択して
- 5 「開く」をクリックします。

画像の枠が表示されるので、

- 6 任意の場所にクリックで配置します。

+ 補足

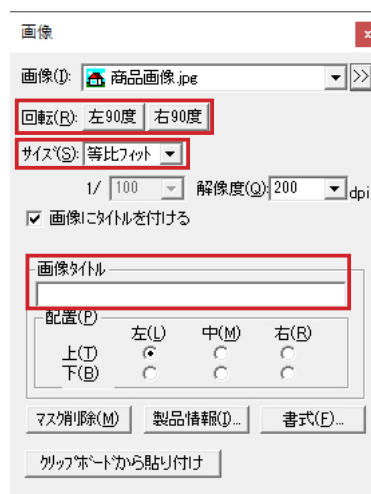
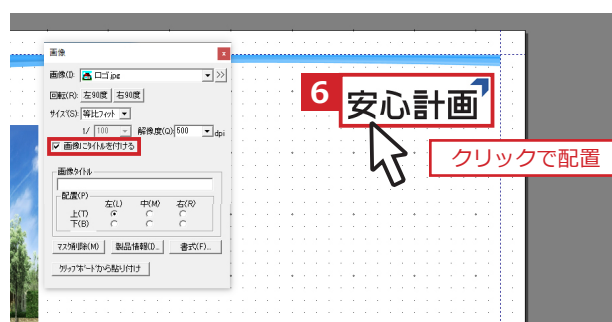
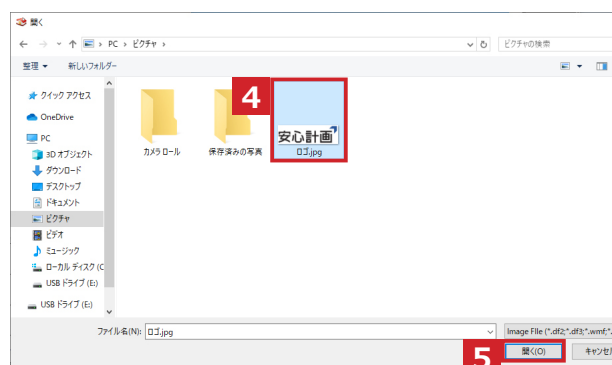
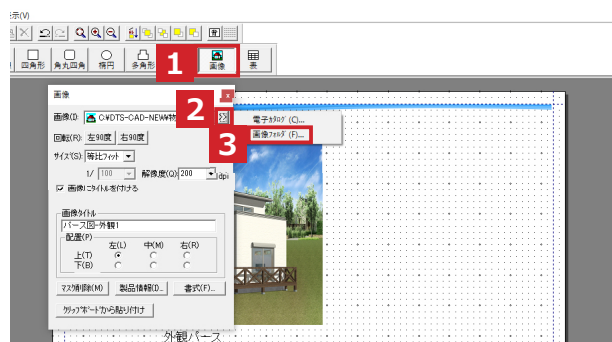
ロゴなどの画像を配置する場合、「画像にタイトルを付ける」のチェックは外します。

また、ロゴだけでなく [bmp]、[jpg] などの画像データであれば、現場写真や商品画像も取り込めます。

+ 補足

画像のサイズ・タイトルを任意のものに設定できます。

また、回転ボタンで画像を 90 度ごとに回転させることができます。



画像のマスク

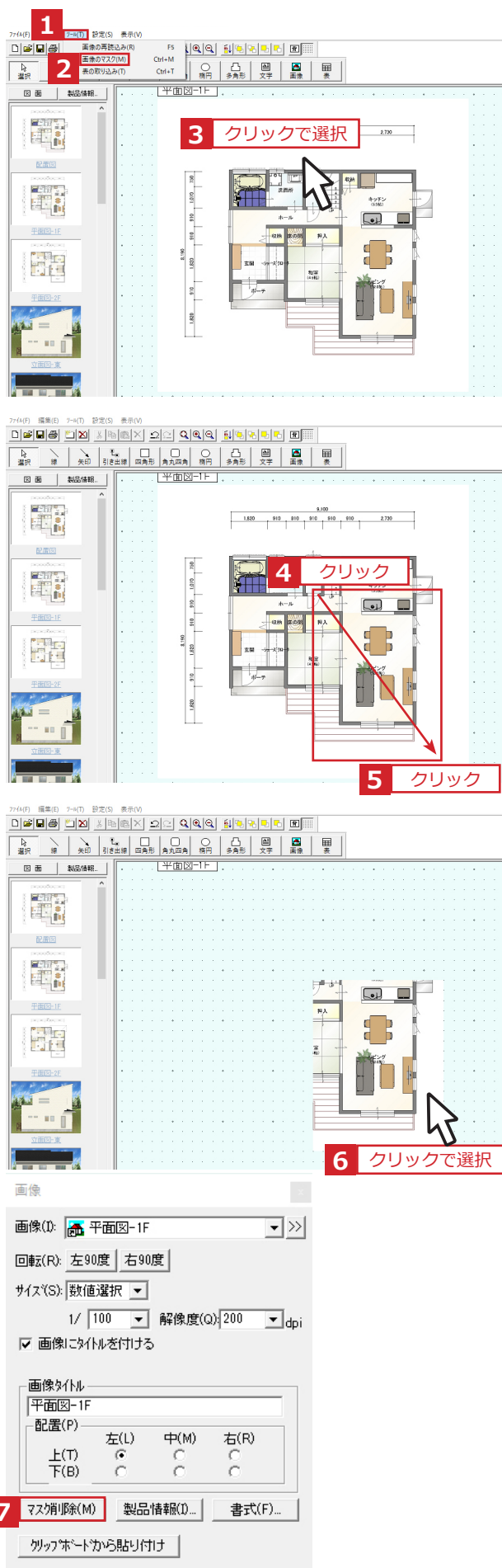
余白が大きい場合など、画像の必要な部分のみを表示することができます。

1 「ツール」 から 2 「画像のマスク」 を選択し、 3 余白を無くしたい図面を選択します。

残したい部分を左クリックで囲います。
(4 , 5)

余白が無くなり、囲んだ部分だけが残ります。

マスクした画像を元の状態に戻すためには、
6 図面を選択して 7 「マスク削除」 をクリックします。



レタッチ

プレゼンボードでもレタッチができます。

1 プレゼンボードに配置されている画像をダブルクリックします。

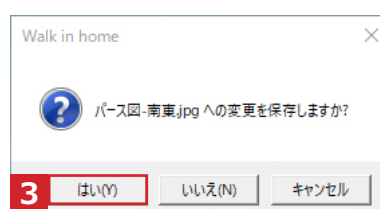
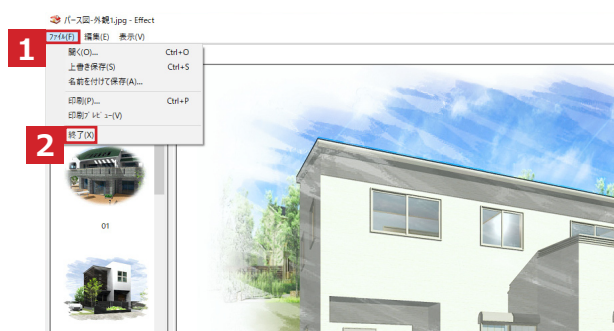
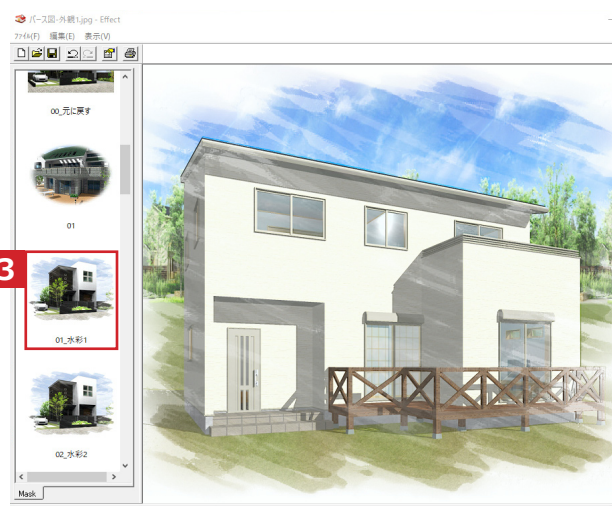
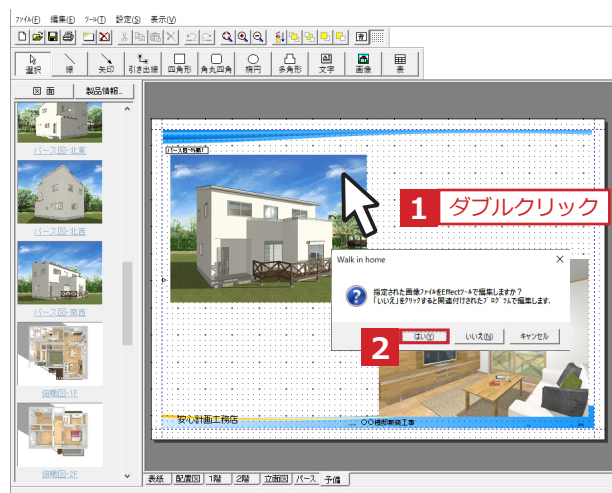
「指定された画像ファイルを Effect ツールで編集しますか？」と問われるので、2 「はい」を選択します。

「Effect」画面が表示され、画面左側にレタッチの一覧が表示されます。

3 「01_水彩 1」を選択すると、メイン画面の画像が変化します。

画像のレタッチした後、1 「ファイル」から2 「終了」を選択すると保存するかしないかを問われるので3 「はい」を選択します。

レタッチをかけた状態でプレゼンボード画面に戻ります。



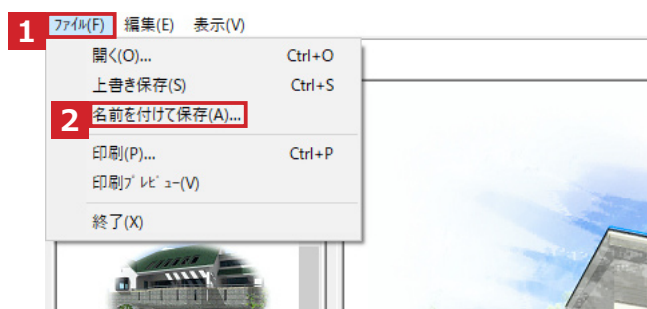
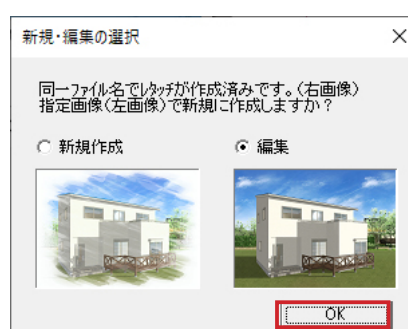
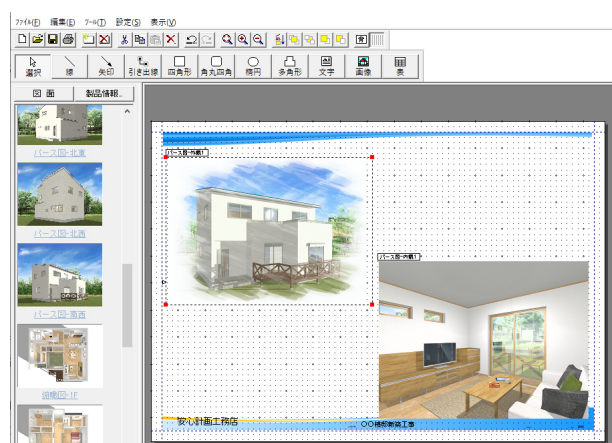
レタッチがかかった状態で「プレゼンボード」画面に戻ります。

レタッチは何度でも行えますが、2回目以降は「新規・編集の選択」画面が開きます。

さらにレタッチを加えたいときは「新規作成」、レタッチがかかる前の状態に戻りたいときは「編集」にチェックを入れて「OK」をクリックします。

レタッチをかけた画像は、保存することができます。

1「ファイル」から2「名前を付けて保存」を選択し、任意の場所に保存してください。



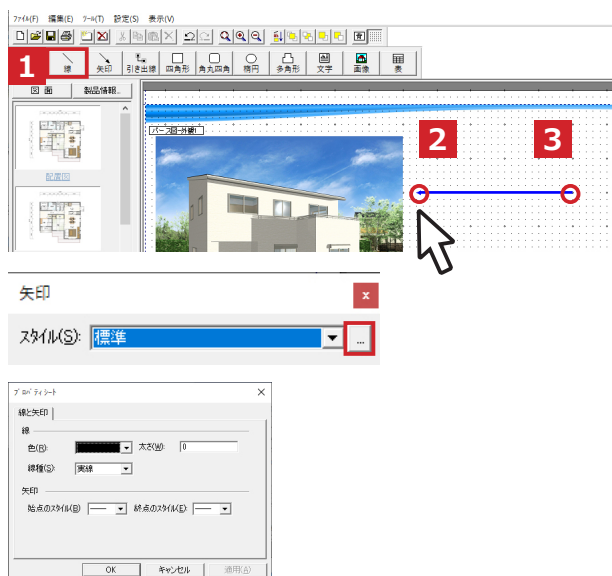
矢印・引き出線などの入力

矢印を入力します。

1 「矢印」をクリックし、任意の長さで2点入力します。(2, 3)

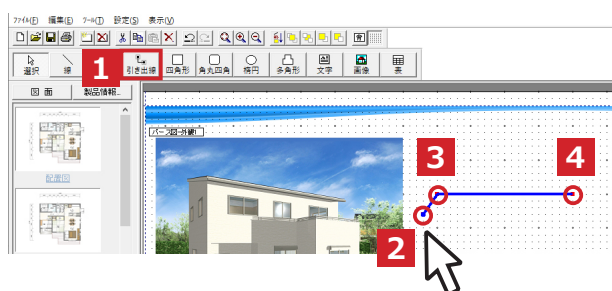
+ 補足

「矢印」画面の「...」をクリックすると、線の色や線種、また矢印の形状などを設定することができます。



引き出し線を入力します。

1 「引き出し線」をクリックし、任意の長さで3点入力します。(2~4)

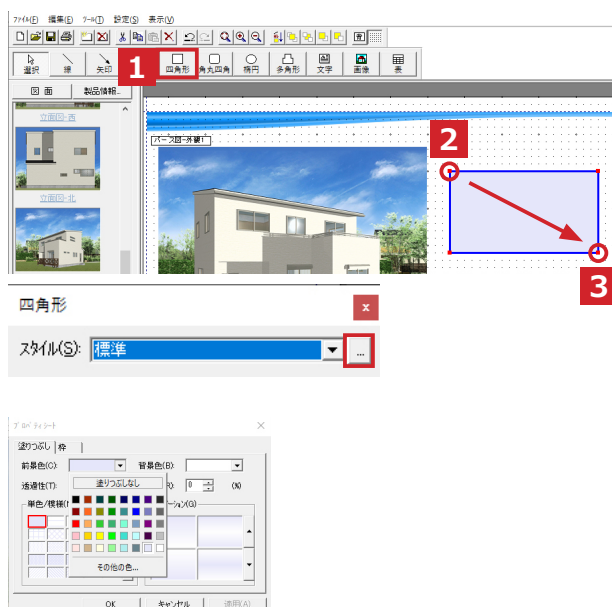


四角形を入力します。

1 「四角形」をクリックし、任意のサイズで2点入力します。(2, 3)

+ 補足

「四角形」画面の「...」をクリックすると、塗りつぶしや枠など設定することができます。



同様に、画面上部の入用大アイコンから多角形や楕円なども入力できます。

その他の機能

プレゼンボードに「当日日付」や「物件番号」などを連動させることができます。

1 「文字」をクリックし、2 「文字」画面の中で右クリックすると連動できる項目が表示されるので、そこから3 「日付」もしくは「当日日付」を選択して配置します。

日付 … 作成した日

当日日付 … 作業している日

※パソコンの日付を参照します。

+ 補足

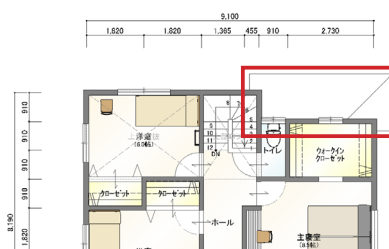
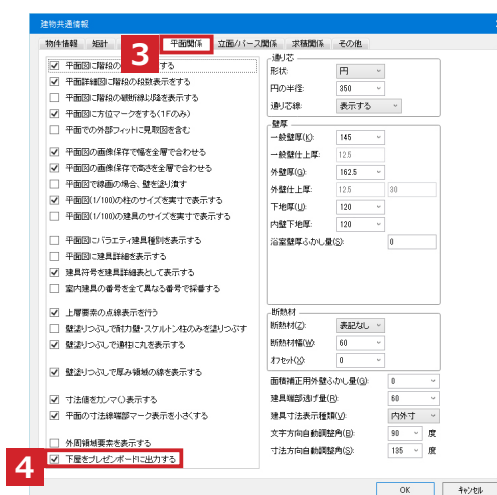
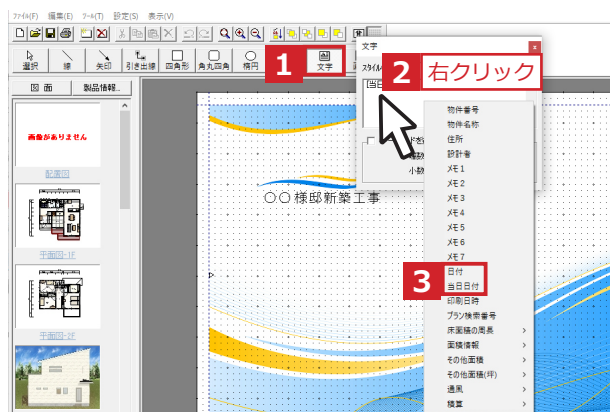
「面積情報」から「1F床面積」や「敷地面積」なども連動できます。

平面図出力の際、下屋の線を表示することができます。

プレゼンボードに出力する前に、

1 「設定」から2 「建物共通情報」を選択します。

3 「平面関係」の4 「下屋をプレゼンボードに出力する」にチェックをつけます。



プレゼンボードの保存

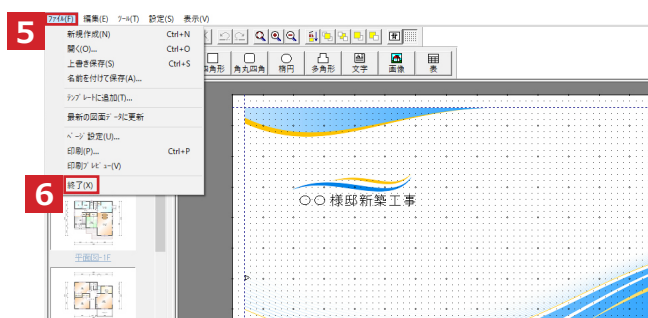
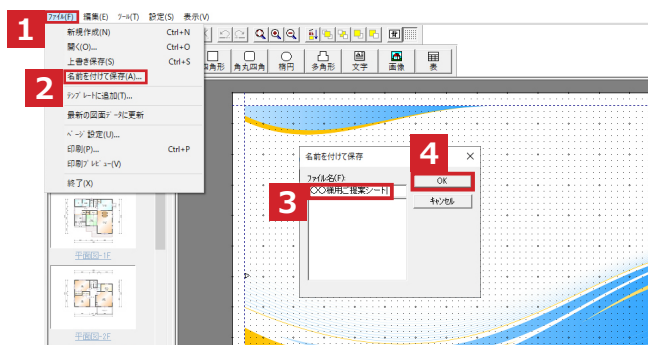
作成したプレゼンボードを保存します。

1「ファイル」から2「名前を付けて保存」を選択します。

「名前を付けて保存」画面で3任意の名称を入力して4「OK」をクリックします。

プレゼンボードを終了する場合は、
5「ファイル」から6「終了」を選択してください。

通常の入力画面に戻ります。

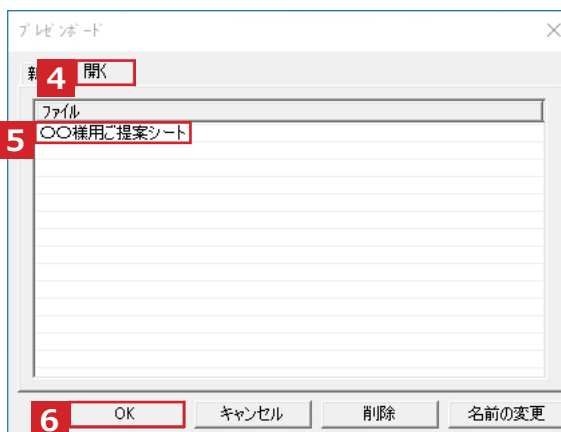
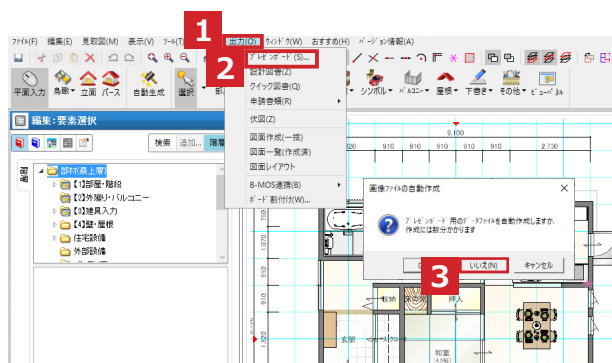


プレゼンボードを開く①

1「出力」から2「プレゼンボード」を選択します。

「画像ファイルの自動作成」画面で3「いいえ」を選択します。

プレゼンボード画面の4「開く」タブから、
5作成したプレゼンボードを選択して6「OK」をクリックして開きます。



+ 補足

「画像ファイルの自動作成」画面で「いいえ」を選択すると、画像を出力しないので時間短縮になります。

プレゼンボードを開く②

図面やパースに変更があった場合は、図面の再生成が必要です。

1「出力」から2「プレゼンボード」を選択します。

「画像ファイルの自動作成」画面で3「はい」を選択します。

変更した図面のみを出力し直せばよいので、一度4「全 OFF」をクリックします。

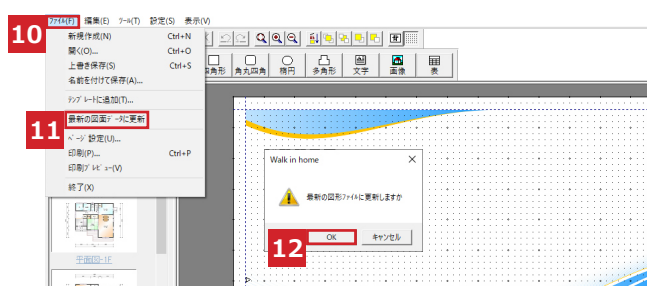
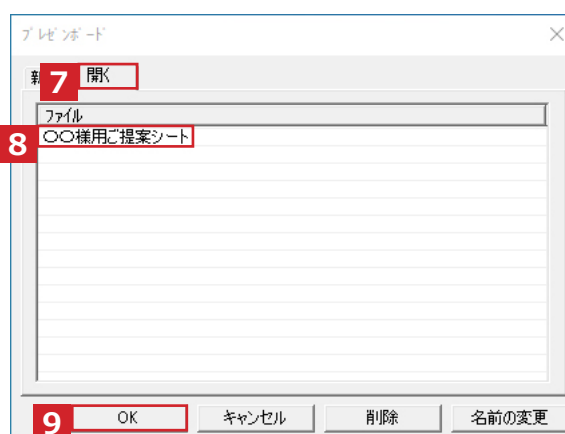
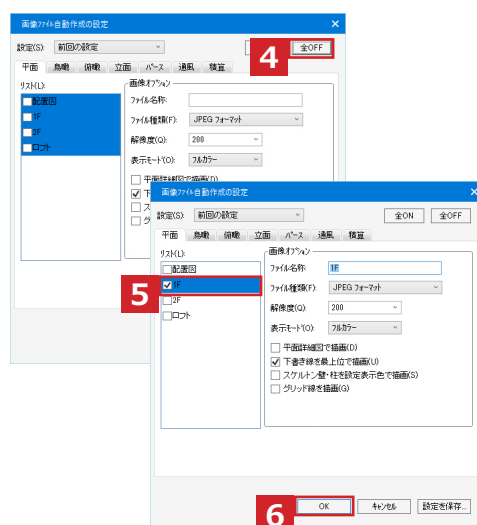
5再生成が必要な図面の名称をクリックし、チェックを入れ、6「OK」をクリックします。

プレゼンボード画面の7「開く」タブから、8作成したプレゼンボードを選択して9「OK」をクリックして開きます。

10「ファイル」から11「最新の図面データに更新」を選択し、12「OK」をクリックします。

注意

画像を再生成しただけでは、保存済みのプレゼンボードの画像は差し変わらないため、必ず最新の図面データに更新してください。



テンプレート作成

テンプレートの作成

画像やロゴ、日付などをプレゼンボードに配置した状態をテンプレートとして登録できます。

テンプレートとして保存すれば、異なる物件でも同位置に画像やロゴを表示できます。

1「ファイル」から2「テンプレートに追加」を選択します。

「テンプレートに追加」画面が表示されるので、3「テンプレート名」に任意の名称を入力し、4「OK」をクリックします。

「新規」タブに追加したテンプレート名称が表示されます。

補足

作成したテンプレートを他のパソコンでも使用する場合は、
[DTS-CAD-NEW¥MASTER¥template]
内にあるデータを同じ場所にコピー・移動します。

